October 2005 Page

1 of 1



DEQX Pty Limited ABN 39 078 435 060 Tel: +61 (0)2 9905 6277 Email: support@deqx.com

Technical support advisory 051020a

タイムアライメントだけを自動補正する方法(F特補正はしない)

スピーカーの周波数特性はそのままで、タイムアライメントを補正したデジタルクロスオーバーネットワー クとしてPDCを使用することができます。このドキュメントはタイムアライメントの補正が可能な高性能デ ジタルクロスオーバーネットワークとしてPDCを使用する方法を提供します。

必要なもの:-

- Version 2.0 C · alibration software ٠
- **DEQX V2.0 Installers manual**

設定方法:-

4)

5)

デジタルクロスオーバーネットワークとしてPDCを使用する場合、まず通常のスピーカーコレクションを行う手順と同 様にPDCを設定します。つまり、スピーカーシステムを測定し、このデーターからコレクションフィルターを生成する 過程で周波数特性補正の項目を無効にすることでタイムアライメント補正のみを行います。

- 1) インストールマニュアルの指示に従ってスピーカーを測定します。
- 2) キャリブレーションウィザードに従って設定を行います。
- 3) 'Anechoic'のタブでおよそ2~3msにカーソルを合わせて下さい。この値は周波数特性を補正するには短 すぎますが、タイムアライメントのためには十分な値となります。
 - 'Crossovers' タブをクリックしてクロスオーバーネットワークを構成しててください。
 - 'Limits' タブをクリックしてください。設定範囲を示す青い線をダブルクリックしてください。設定画面が 現れますので 'Max Boost' and 'Max Cut' に「O」を入力しOKをクリックします。(下図参照)

Measurement smooth

- Automatically adjust scales with left limit
- Imme align individual drivers
- Overwrite existing correction when recalculating
- Update 'calibrated' plot when smoothed measurements change

Max delay cannot exceed 19.79ms with this crossover delay of 1.54ms Crossover:

Frequency Response							
		L	imits Edit			×	
			Limit Parame	ters	_		
			Frequency	100	Hz		
			Range	23500	Hz	Cancel	
			Max Boost	0	dB		
		Ż	Max Cut	q	dB	Help	

DEQX Pty Limited 1 Roger St Brookvale NSW 2100 Australia. Tel: +61 (0)2 9905 6277 Fax: +61 (0)2 9905 8066 www.DEQX.com

October 2005 Page

DEQX Pty Limited ABN 39 078 435 060 Tel: +61 (0)2 9905 6277 Email: <u>support@deqx.com</u>



Technical support advisory 051020a

6) ブースとカットを '0' に設定すると、設定範囲を示す青い線は直線になります。(下図)



- 7) オプションの 'Time align individual drivers(各ユニットのタイムアライメント)' にある 'Calculate new correction' をクリックしてください。修正フィルタが計算されてその応答を見ることができます。それはま さしくクロスオーバーネットワークのように見えます。グラフを右クリックして 'View' を選択すると 'Group delay' や 'Impulse response' などを見ることが出来ます。
- 8) 最終的にPDCをコンフィグレーションします。 'bypass profile(バイパスプロフィール)' と新たに作成された修正フィルタ、そして他のプロフィールを設定し、PDCにアップロードしてデジタルクロスオーバーネットワークを構成します。
- 9) これらの設定を行うことでタイムアライメントをしていない場合のクロスオーバーネットワークと周波数特性の補正はしないでタイムアライメントをした場合の効果を比較することが出来ます。

2 of 1